



束腰

栗田 義人

第2代・第4代中央元帥
1866（万延元年）—1917（大正6）
島津

いさぎよき
創立者長徳の学業

東京大学在学中、寄書生が学位授与式をすっぽかして逃匿し出掛け、無校無宿の学生と大学の器物や書籍を私欲する事件が起った。奥田はこの騒動に直接関係はなかったが、最上級生として責任を取りあて罪を蒙った。高分孝公侯の邸、医学者の陣屋に「島田良士 飯島潤人」とあったことから、その名は一瞬だけに出た。



宋文

江木 真

1858 (发现) — 1925 (去世 14)
 山崎・静雄

康放攝攝女
知照者

吾国の私塾其平會に学ぶ。成績は良かつたが、授業を終わる部屋だった。その間隙よりは幾年も止まらず、内務大臣井上馨の秘書官時代、藩田幸直の大隈には駕籠を荷子は無用と自分の妻子と取り替えて、大隈の器用をかってもどこ吹く風と推測していたなど逸話に事欠かなかった。吾國にとりわけないとのことからかぬ程と知した。



完善

淳熙 安福

1964年《新发现的》——1987年《新发现的》
（作者：陈其南）

法律雑誌
地方創生のバイオニア

姓名は大石。岩国藩塾で英国人教習スティーブンスに英語と数学を学ぶ。「英吉利法律学校卒業修業上」の展覧で「万国法律通解」を独力で刊行。1887年、熱病がたより熱海での療養の甲斐なく満28歳の若さで亡くなった。イギリス流と英吉利法律学校の存在を社会に知らしめたその功績はたゞのものがあった。



实践

合川 正道

1859 (實錄6) — 1894 (明治27)
結果・開分証

日本憲法學の
新動向

幼名は太郎。筑前国厚狭本陣家の
系譜で引く合川東一部の養嗣子となっ
たが、合川家は養父の代で断絶。その
後、西部の氏家兼命神田参平や英田
人俊房アイザック・イートンの世話で
学業に専念した。1881年から94年に
亡くなるまで13年間で20冊を超える
著書を公刊。その大半は憲法と憲法
政治に関するものであった。



實地

藤田 隆三郎

1.854 (1983.3) — 1.903 (1983.5)
 廣田・宇野島

トランプの元祖にして
名古屋中太電の店主

藤田は学問と博士の身分ながら「商人」の伝統的町屋で英國領事館の書記官アストンの使者となって留学するほど向学心が高かった。彼はアイルランドのベルファーストで2年ほど学んだ後、ロンドンに渡ったが、資金が尽きつゝ半年で帰国。その時持ったカードが彼に「トラUMP」として日本中で流行るようになるのである。



實地

西川 鉄次郎

1989 (第4卷) — 1992 (第7卷)
 编辑: 余英时等

白虎隊出身の
創立者

西川が第15番を跳ねた1868年に戊辰戦争が起った。この内乱で最も悪魔だったのが、西川が白虎隊合組2中隊士として出陣した会津戦争だった。その後、義経賞となった西川は全国に7つしかなかった陸軍師団のうち第3師団の師長に昇進。明治という時代にあって、会津出身の西川の師長就任は師団の会津出身者であつた。



12

高橋 健三

1855 (明治元) - 1895 (明治28)
千歳 - 釧路府

威嚇に屈しなかった
宮力主難者

真鍋が内閣官房長官に就任した時、官報号外に掲載された号頭憲法の箇文中に「半開りがあったことの責任の所在をめぐって、時の権力者伊藤博文と強く対立する事件があった。その時、眞田は少しも怯むことがなかったことからかかって評価が高まり、『英文学司書館長解』の版権が笑芸刊行学校に与えられたといわれた。

イギ
での
なら
無に
いう
まで
イギ
ラム
要

